NIE実践報告

1．タイトル：☆これからの世界と日本について考えよう

2．学校名

岐阜県本巣市立糸貫中学校

3．実践者名（代表者名）

武藤映水

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（歴史分野）　32人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事から最近の世界や日本の出来事や問題を知り、日本国民の一員としてするべきことを考えよう。

7．目標(狙い)

新聞記事から世界や日本の出来事を知ることを通して、生徒一人一人が国際関係、環境や平和の問題が起きていることに気付き、自分たちの身近なところからできることを考えることができる。

8．評価の視点

国際社会の一員としての自覚に立ち、身近なところで自分たちにできることを考えて交流している。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「現代の日本と世界」　6時間
本時「これからの世界と日本」　6/6

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教師が選んだ新聞記事の紹介をする。
②交流の仕方を提示する。
・自分が選んだ記事の内容、考えを伝えること。
・どこに興味や関心をもったか、またその理由を説明すること。
・質問や感想を聞いてから交流を進めること。
③グループ交流を行う。
④全体交流を行う。（代表者各1名が発表する。）
⑤一人一人が新聞から考えたこと、学んだことをまとめる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞を活用し、自分たちの意見を交流する中で、生徒は自分の考えを明確にもつだけでなく、さまざまな考え方や見方にふれることができた。また、生徒は自分の意見だけでなく、さまざまな立場の人の意見を聞いて、考えをもつことが大切であることに気付くことができた。

12．成果と課題

＜成果＞生徒が新聞を読む中で、情報を得るだけではなく、記事を読んで自分の考えをまとめることやこれからの社会をどのようにしていったらよいかなどについて、生徒自らが考えようとする姿が増えてきた。

＜課題＞授業などを通して、新聞に親しみをもつ生徒は増えてきた。今後は、継続して表現力を育成する必要がある。そのために、生徒が継続して主体的に記事に触れることができるような場所や環境を今年度以上に確保していきたい。